

令和3年6月12日

親和会会長 池田 全徳

現在の東大工学部応用化学科、化学システム工学科、化学生命工学科の前身である旧応用化学科の卒業生であり、2010年ノーベル化学賞受賞者である根岸英一先生の突然の訃報に接し、化学・生命系同窓会である親和会として深い哀悼の意を表します。

根岸先生は、炭素—炭素結合反応であるクロスカップリング反応を促進する触媒に金属のパラジウムを使い、反応進行の目印に亜鉛を活用する画期的な反応を開発され、現在では「根岸カップリング反応」と呼ばれています。本反応によりさまざまな有機化合物の効率的合成が可能になり、医薬品、農薬、電子材料開発などに大きな貢献を果たしています。

根岸先生は、親和会を代表する卒業生、研究者の一人として、世界的に高い研究レベルで化学分野を先導されただけでなく、次世代を担う若い研究者に、自ら海外に出よ、等前向きなエールを送り続けて下さいました。親和会として、先生の学術への多大なご貢献に感謝申し上げますとともに、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。